

# TOUR 東名化成 豊田工場へ 行こう!



東名化成 豊田工場は1987（昭和62）年10月、愛知県豊田市岩倉町に新設され、主に自動車用ウレタン加工品を取り扱う工場として創業を開始しました。

2012（平成24）年1月に裁断縫製内製化の取り組みを実施。現在は主に車のウレタンシートの裏面材、サンバイザーのクッション材を裁断加工し、裁断に特化した業態となっています。近年では加工だけではなく、裁断に必要な加工プログラムも作成し技術の幅を広げています。

## 裏面材加工に使用する設備・工程

### 延反機



ウレタン生地を指定の長さまで伸ばし、多層にして自動裁断を行う。

### NC裁断機



延反機で多層にした生地を、コンピューター制御により自動裁断を行う。

### メタルテープ貼り



金型に裏面材をインサート成形する際に必要なメタルテープを裏面材に貼り付ける工程。（金型には裏面材が貼り付くように、マグネットが埋め込まれている）

### 縫製



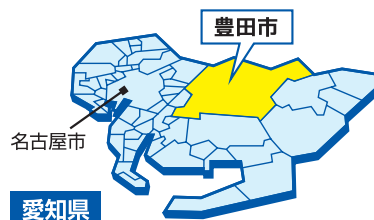
平面的な裏面材を立体的にするため、工業用ミシンで部分縫製を行う。



**Tomei** 豊田工場  
DATA

従業員数：40人

面積：土地 5,264㎡  
建物 2,354㎡



## PAD VISOR(サンバイザーのクッション材)に使用する設備・工程

### スプリッター



ブロック状のウレタンをスライスする機械。ウレタンを載せた作業台が前後することで刃と接触し、設定した厚みにスライス加工を行う。

### 連続裁断機



スプリッターでウレタンブロックを指定の厚みにしたシートを、コンベアで送り込み、連続でプレス裁断を行う。裁断品を箱に詰める際にバリ、欠け、破れに細心の注意を払いながら作業を行う。

## 最終製品紹介

豊田工場で生産したウレタン加工品を日進工場のその他部材と組み合わせ顧客先へ納品する。

### シート



裏面加工工程で作成した不織布を部品として使用しています。

### サンバイザー



PAR VISOR工程で作成したウレタンを部品として使用しています。